

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 431 号	氏名	中原 麻美
学位審査委員	主 査	中尾 一彦	
	副 査	山下 俊一	
	副 査	川上 純	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、バセドウ病マウスモデルにおける甲状腺刺激ホルモン (TSH) 受容体に対する自己免疫反応を解析するために、ヒト TSH 受容体とマウス TSH 受容体に対する免疫反応を野生型マウスと TSH 受容体ノックアウトマウスで比較検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 ヒト TSH 受容体或いはマウス TSH 受容体発現アデノウイルスを用いて、野生型及び TSH 受容体ノックアウトマウスを免疫し、それぞれの受容体に対する免疫反応を抗 TSH 受容体抗体価及び甲状腺機能から解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、野生型マウスはヒト TSH 受容体には免疫反応を惹起するものの、マウス TSH 受容体に対して非常に強いトレランスを有していること、一方 TSH 受容体ノックアウトマウスにおいてはヒトだけでなくマウス TSH 受容体にも免疫反応を示すことを明らかにし、マウスではヒト TSH 受容体は厳密には自己抗原とは言えず、マウス TSH 受容体を用いることによって受容体に対する真の自己免疫反応を解析することが可能であろうと結論づけた。よって、本研究は今後のバセドウ病病因研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は甲状腺自己免疫研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			